

## 2023年オープン予定の大エジプト博物館が参加 福井県立恐竜博物館のオンラインツアーも 観光・博物館がテーマの JICA 主催国際シンポジウム

- 取材対象日時：12月14日（水）18:00～21:00  
 18:00～20:00 基調講演、各登壇者による講演、福井県立恐竜博物館オンラインツアー  
 20:00～21:00 パネルディスカッション
- 場所：ハイアットハウス金沢3F Hレストラン（住所：金沢市広岡1丁目-5-2）
- シンポジウム名：デジタル化と公共化がひらくミュージアムの未来
- 言語：日英通訳あり



恐竜博物館  
今井拓哉氏

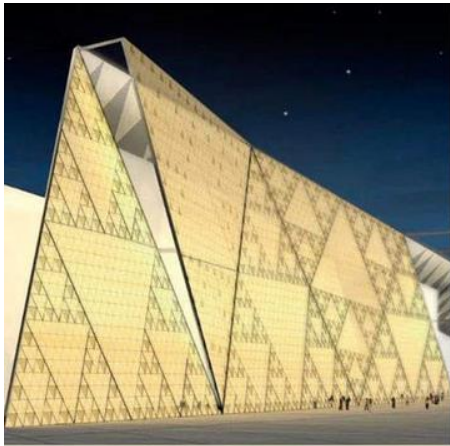
公立小松大  
朝倉准教授

昨年度、JICA 研修に参加した2名。大エジプト博物館のキュレーターとして開館準備にいそむエミー氏（左写真、立像の手前）はエジプトから現地報告を、立命館アジア太平洋大学に留学中のウズベキスタンのディルノザ氏（右）は金沢の会場に来場予定。

JICA 北陸は昨年度からオンラインで「観光開発政策」研修を実施し、10カ国23名の行政官等の人材育成を行いました。今般、コロナ禍を経て進んだ博物館コンテンツのデジタル化をテーマに、福井県立恐竜博物館や公立小松大学、文化庁、大エジプト博物館が参加する「国際シンポジウム」を開催します。終了後に、主催者、登壇者、参加者への取材も可能です（エジプト以外の登壇者は、上記会場にて参加。外国人への取材は通訳あり）。

**事前告知記事執筆のご協力と、当日の取材をご検討ください。**

【問合せ先】 案件説明：JICA 北陸 野吾（やご） TEL:090-5790-7115  
 事務局：（一財）地域振興研究所 新家 TEL:090-2839-0955



Collaborative Symposium with the Grand Egyptian Museum

## The Future of Museums: Digitalization and Publicization

Hosted by Japan International Cooperation Agency Hokuriku Center  
Supported by Japan Advanced Institute of Science and Technology  
Research Institute of Regional and Urban Planning

大エジプト博物館との協働シンポジウム

### デジタル化と公共化がひらくミュージアムの未来

ミュージアムにおけるデジタル技術の活用は、これまでも資料のアーカイブの必要性から進められてきたが、コロナ禍を経て、デジタル化したコンテンツのオンライン活用や、オンライン上でのバーチャル展示など、より多様な可能性に目向けられている。

全ての人に開かれたミュージアムとして、ミュージアムにおけるデジタル化はどのような可能性を持ち、どのように活用していくことが望ましいのだろうか。観光や地域発展との関係はどのように考えられるだろうか。

エジプトと日本の情報を共有して学び合う場としたい。



Eman Mohamed Abd Elmageid (Emy)

大エジプト博物館エジプト中王国時代部門ヘッドキュレーター

キュレーター、エジプト学者、博物館学者。

2005年カイロ大学卒業、2021年ヘルワン大学観光・ホテル科博物館学修士号取得。カイロ博物館パピルス・コインコレクションキュレーターを経て、2018年より現職。

自然資源や文化遺産を次世代に残すことと、地域社会の社会文化的真正性を尊重することを両立させ、観光産業における持続可能な発展を実現するために、地域社会の意識を高めることを目標としている。

読書、写真、サステナビリティに関心がある。



中尾智行

文化庁参事官（文化観光担当）付博物館支援調査官

1973年大阪府生まれ。専門は日本考古学と博物館学。河内長野市教育委員会、大阪府文化財センター、鳥取県教育文化財団、神戸女子大学非常勤講師、大阪府立弥生文化博物館総括学芸員を経て2020年から現職。これからの博物館に必要なのは、資料と館活動の公共化、利用者との価値共創を進めることであり、ICTの積極的な活用がその有効な手段となると考えている。



今井拓哉

福井県立恐竜博物館研究員  
福井県立大学恐竜学研究所助教

1987年生まれ。東京都出身。博士（理学）。専門は恐竜の繁殖、恐竜時代の鳥類の分類。近年では恐竜化石のデジタルデータ化や、バーチャル技術を活用した教育・普及活動に注目し、「福井バーチャル恐竜展」などを実施している。民間企業との連携にも取り組み、(株)地球科学可視化技術研究所（茨城県つくば市）恐竜技術研究ラボ客員研究員や、(株)恐竜総研（福井県福井市）技術部長も務める。



朝倉由希

公立小松大学国際文化交流学部准教授

1977年福井県生まれ。京都大学卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士（学術）。2017～2021年度文化庁地域文化創生本部総括・政策研究グループ研究官。文化政策国際比較等に携わる。2021年度より現職。専門は文化政策、アートマネジメント。国や自治体が文化を支える仕組みについて調査研究を行い、芸術文化の多様な意義とその評価のあり方について探求している。文化庁文化創造アナリスト。